

識別番号	年月日	担当医等の意見	報告企業の意見	参考事項
		<p>患者はバーキンソン病の基礎疾患は認められないが、慢性腎不全があるため、薬物血中濃度が正常腎機能者と比べて高値であった可能性が高く、このことが今回 stavamin 錠を引き起こした原因かも知れない。一般的に、急速に薬剤を中心とする事で発症するタイプとは異なるようである。</p>	<p>本件については、高血圧治療の為の薬剤に加えて、感冒治療の為の薬剤が投与されており、その過程でロティアミン錠10が処方されている。このことから複数な薬剤相互作用が考えられる。また、担当医の指摘の通り、慢性腎不全による血中濃度の上昇の可能性も考えられる。これらのことから被倫薬の特定は困難と考えられるが、使用上の注意に「悪性症候群」の記載がある薬剤は本剤のみであることから、本剤による副作用の可能性が十分考えられるのでロティアミン錠100による悪性症候群症例として報告する。</p>	
		<p>処置と今後の対策</p>		
		<p>本件については、ロティアミン錠100による副作用例として、医薬情報担当者に、安全性情報の1例として、周知徹底させるとともに、今後も副作用・感染症併発の収集に努める。</p>		